

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】

(⑤その他の施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	14	施設名	遠州南部とうもんの里 総合案内所			担当課名	農林課
区分		内容・説明					
1	施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	遠州南部とうもんの里総合案内所条例				
		(2)施設設置目的	遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図るため。				
		(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内コーナー、研修室、加工体験室(調理室)、特産物展示スペース				
		(4)施設建設年度	平成18年度				
		(5)耐震性能の有無	有				
		(6)将来予想される改修経費	外壁・展望台塗り替え				
		(7)指定管理者名	NPO法人とうもんの会				
		(8)指定期間	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで				
		(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
		(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 12,294千円)				
		(11)指定事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 千円)				
		(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし				
		(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成23年度)				
区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
2	施設・設備(と)	(1)施設利用者数	71,706	84,438	88,193		
		活動体験者	2,879	2,151	3,188		
		講座受講者	559	479	848		
		団体活動参加者	2,551	2,738	3,839		
		視察者	257	72	115		
		登録出荷者	206	232	250		
		レジ客(出荷者含む)	44,479	51,089	55,513		
		案内・ロビー及びイベント広場利用者等	20,775	27,677	24,440		

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	—	—	—	—	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	121	101	95			
	(3)運営日数	324	314	319	313		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
		②臨時職員	9.0	9.0	9.0	9.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	4,590,520	4,549,178	4,472,040	4,598,000	
	②印刷費	259,131	320,801	390,262	238,000	
	③通信費	282,845	410,665	305,701	379,000	
	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	5,132,496	5,280,644	5,168,003	5,215,000	
	対前年度増減率		2.9	△ 2.1	0.9	
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,335,814	1,306,681	1,359,465	1,498,000	
	清掃業務	386,567	437,155	448,804	481,000	
	公園樹木管理	254,597	211,676	250,031	307,000	
	浄化槽管理業務	212,910	190,810	196,110	250,000	
	防火設備保守事業	63,000	61,950	59,430	60,000	
	防犯警備事業	177,450	163,800	163,800	160,000	
	POS管理保守事業	241,290	241,290	241,290	240,000	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	86,840	136,500	37,170	200,000	
	③光熱水費	1,343,746	1,298,680	1,322,218	1,032,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	779,104	482,495	532,144	225,000	
	計	3,545,504	3,224,356	3,250,997	2,955,000	
	対前年度増減率		△ 9.1	0.8	△ 9.1	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		8,678,000	8,505,000	8,419,000	8,170,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		59.1	62.1	61.4	63.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		27,250	27,240	35,120		
(6)運営コストのうち利用者収入の割合		0.5	0.5	0.7		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、 利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	27,250	27,240	35,120	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,678,000	8,505,000	8,419,000	
a)-b)	△ 8,650,750	△ 8,477,760	△ 8,383,880	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	<p>①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか</p>	<p>①農村文化の情報発信は、e-じゃん掛川への参加やとうもんの里HPブログの更新、市広報への事業計画書折り込みやラジオ等のメディアへの出演を行う他、6月18日・19日に三島市で行われた「ふじのくに食育フェア2011(第6回食育推進全国大会)への参加PRや、しずおか地産地消協議会主催による8月21日の「静岡県民の日」にちなんで「地産地消フェア」に連動した企画事業を行った。また、掛川市をはじめ袋井市、磐田市の観光資源の情報収集に努め来館者への情報提供を行っている。 ②活動体験者・講座受講者の増加及び朝採り市の出荷者・利用者の増加からも、住人サービスの向上は図られている。 ③観光ツアー会社への働き掛けによるバスツアーを実施したり、県主催のイベントへ参加することにより広く情報提供を行った。また、地域農業の活性化のための朝採り市も、出荷者の増加に伴い荷ぞろえも充実、消費者の満足につながり、生産者・消費者がともに地域の環境と農地を守る活動も順調な広がりを見せている。また、新たな試みとして、食文化の伝承のため、とうもんの里食文化研究会を設立し、プロと楽しむ食講座や食文化を味わう会の講座を開催した。</p>	<p>①情報発信については、とうもんの里HPにより多くの最新情報を掲載。ペーパー物についても「とうもん日和」を引き続き毎月発行し充実を図る。観光資源については、ツアー会社に様々なメニューを提案していく。市県とのイベント等の連携を引き続き行っていく。また、「とうもんの里ネットワーク」連絡協議会を中遠農林事務所及び掛川市、磐田市、袋井市の農林、観光、文化財担当で組織し、地域施設やイベント等の最新情報の来館者への提供に努める。 ②ニーズに合った活動体験や講座の内容を検討していく。 ③地域の活性化は、地域以外の利用者があてにしてくれる施設になっている現状をみると交流・経済の拠点として、プログラムの内容をさらに検討精査することで、効果は、更に上がるものと考え。</p>
(2) 利用者満足度	<p>①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか</p>	<p>①活動体験や講座については、参加者に感想を書いてもらうようにしており、担当者だけでなく毎月行われる全体会で、会員全員が共有し、利用者の満足度向上に努めている。 ②活動体験や講座内容の改善により参加者が増加した。11月26日には入館者30万人に達成した。 ③全市域的な団体及び中東遠地域や全市域のイベント等への参加者が利用している。</p>	<p>①引き続きプログラム利用者へのアンケートを行う。 ②プログラムの新メニューの拡充で利用者増加を図る。また、利用者の増加に伴い、利用者が快く衛生的に利用してもらえる様、引き続きトイレや加工体験室の清掃管理等の充実を図る。 ③魅力あるプログラムや情報をHPやメディア等により広くPRし、広い範囲からの利用者増加に努める。</p>

<p>(3) 効率的な運営</p>	<p>①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか</p> <p>※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。</p>	<p>①必要経費を最低限抑えた算出を行っている。 ②生産者及び消費者の意向調査による朝採り市の週末3日の開催運営を続けるとともに、学校給食及び漬物業者への納入が増え、生産者の意識向上効果もあり、拡充を目指して平日の人員の確保、管理業務を兼任することによる人件費の削減を継続して行っている。また、電気料削減のため、蛍光灯の間引きや使用頻度の高い女性トイレ以外の男性トイレや障害者トイレの自動点灯をオフにしたり、お客さんがいない時のこまめな消灯等に努めた。 ③バランスのとれた収支である。 ④利用料金収入が少額のため、検討していない。</p>	<p>①特産物展示スペースの朝採り市利用分の電気料及びガス代については、自主事業からの支出とし、管理運営費を削減する。 ②施設目的の達成を目指し、人員の適材適所と時間の適正化により人件費の削減を目指す。塗装等の修理に関しては、計画的に実施していく。なお、電気料削減のため、事務室の明かりも暗くしているが、執務中であっても暗いまま行わざるを得ない状況である。 ③修理費の増加や利用者増加によるランニングコストの増加等管理費は減る要素が無いが、バランスのとれた収支を目指し削減に努める。 ④利用料金収入は少額であり、また施設目的達成のためには、民間等への移行は適切でないと考える。</p>
<p>(4) 施設の将来性及び統廃合の可否</p>	<p>①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か</p>	<p>①施設の利用者数は増加の傾向にあり、地域の農村文化の伝承や情報発信及び地産地消の推進に貢献しており、今後更なる発展が期待できる。 ②市内に類似施設はない。</p>	<p>①地元のNPO法人による運営の利点を生かし、更なる市民ニーズに即した情報提供や事業の展開を実施する。 ②類似施設が無いため統廃合は考えていない。</p>
<p>(5) その他の課題等</p>	<p>①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか</p>	<p>①朝採り市での収益分を自主事業へ助成したり、イベント等での人件費削減等により自主事業収支のバランスをとっている。 ②築後5年を経過し、木造建築物の安全確保のための塗装修理及び外構(殊に作土が悪く根が張らない樹木)管理が必要であるが、利用者の増加等によるランニングコストの増加など管理費は減る要素がなく、グリーンバンクの助成金に頼るものの根本的解決までには至らない。</p>	<p>①効果的な自主事業展開のため収支のとれた運営を図る。 ②樹木に関しては、当初植えたものに関しては全く成長しないので、東日本大震災までは中電の補助で花木の苗をもらい植込みをやめて花壇にするなどして対応を行ってきたが、震災以降は中電からの補助が無い状態である。委託でなく、会員の出役によりコストを抑える。引き続き無理の無い範囲で節電に努める。</p>

5 その他自由意見